

「脳血管疾患における長下肢装具 KAFO 使用後の、回復期病棟入退院時 FIM に

差があるかの検討」へのご協力のお願い

このたび、当院回復期病棟へ脳梗塞、脳出血で入院された患者様で、リハビリ介入において長下肢装具（KAFO）を用いた方の移動能力の向上が得られたかを確認するために、入院時 FIM と退院時 FIM の差があるかの研究を行います。

当院には脳梗塞、脳出血などの脳血管疾患の患者様が多く入院されています。脳卒中ガイドラインでは、装具療法は歩行の速度、その他 ADL 能力を向上させるために推奨されています。

そこで今回、入院時と退院時の FIM を比較することで、歩行能力が向上しているかを明らかにする為の研究を計画しましたので、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

患者様への負担は一切ございません。また、患者様のプライバシーは漏洩しないように留意いたします。

本研究に対して書面にて、同意は頂いておりますが、参加を希望されない方はご連絡をお願いいたします。

1.対象となる方

2024 年 1 月から 2024 年 12 月までの期間で、脳血管疾患で当院回復期病棟へ入院された患者様。

2.研究課題名

長下肢装具を作成した患者様で入院時、退院時の移動 FIM に差があるかの検討。

3.研究実施期間

医療法人 社団明芳会 イムス佐原リハビリテーション病院

4.協力をお願いする内容

診療録（カルテデータ）から疾患名、現病歴、合併症、既往歴、年齢、性別、FIM、FAC を調査いたします。

5.研究実施期間

承認日から 2024 年 5 月 30 日までにデータ解析をいたします。

6.プライバシーの保護について

個人情報の保護に関する法律に則り、個人情報の取り扱いには十分に配慮いたします。研究対象者の性別、疾患名等の個人情報はすべて匿名化し、研究対象者を特定できる用法を含まないようにします。

7.お問い合わせ

この研究について、何かお聞きになりたいこと、心配な事がありましたら、いつでもご遠慮なく研究責任者にお尋ねください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報保護や当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究方法に関する資料を閲覧する事ができます。

【研究責任者】

研究参加にご同意をいただけない患者様及び、関係者皆さまから相談等への対応窓口は以下の通りです。

〒287-0001 千葉県香取市佐原ロ 2121 番地 1 イムス佐原リハビリテーション病院

研究責任者：小林 直貴（リハビリテーション科 理学療法士）

連絡先：0478-55-1113（イムス佐原リハビリテーション病院）